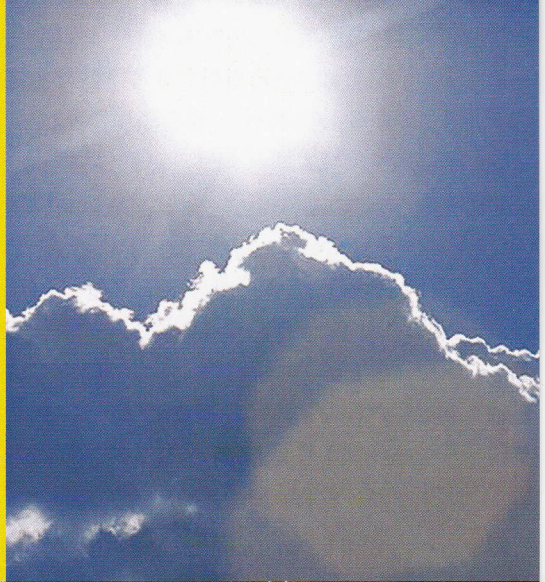




湖東 だより 第8号



心臓血管センター
湖東記念病院

ご挨拶

初夏の候、皆様にはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

当院は、2000年秋に、24時間365日、循環器疾患、脳血管疾患に対応できる急性期病院として開設されました。

当初から、滋賀県中部40万人を超える医療圏のニーズに応えられる基幹病院を目指してまいりましたが、現在は全県、そして県外から来院される患者様も大勢いらっしゃいます。このため、当院に来られる患者様に対して、最新のエビデンスと確かな技術ならびに体制に基づいた高度医療を提供できることが我々の使命であると考えております。特に循環器疾患は迅速な診断、治療が不可欠です。我々は、紹介元の病院や医院と連携を密にとり、スムーズな治療完了までのプロセスも工夫しております。さらには当院での治療成績をはじめとしたデータ分析を進め、また治療後の追跡調査をき

副院長

馬淵 博



つちりと行い、当院単独の経験を本年度より積極的に公開する予定です。これらの公開データを今後の病院選択枝の一助としていただければ幸いに存じます。

末筆ながら、皆様の一層のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



第2回 市民公開講座を終えて

心臓血管センター長
武田 輝規



去る平成24年6月3日、今年で第2回目となる市民公開講座「心臓病で命を落とさないために～最善の予防と最新の治療について～」を開催することができました。当日は天候にも恵まれ400人以上の市民の方に御参加いただきました。

基調講演の一つ目は京都大学附属病院より田崎淳一先生をお招きして「切らずに治る動脈瘤」という題目で大動脈瘤の早期発見や最新のステントグラフト治療のお話しをしていただきました。二つ目は私が「心筋梗塞、狭心症治療の最前線」という題目で、動脈硬化と心臓カテーテルについて、特に今回は急性心筋梗塞の恐さと、いかに予防していくかについて重点的にお話しさせていただきました。基調講演後の質問コーナーでは時間が足りないくらいたくさんの方にご質問をいただき、市民の皆さんの関心の高さを実感いたしました。

特別講演は俳優の田中健さんをお招きして、ケーナ演奏や歌、そして楽しいお話しをしていただきました。会場の外では、AED講習会、血圧・血糖測定会、ポスター展示などもさせていただきました。

私達は日々、病気を患われた患者様を診断して治療していくことの繰り返しであります。病気を未然に防ぐことや心の健康を保っていくことの必要性、重要性を再確認できた市民公開講座であったように思います。

このような会を通じて地域の皆様からより信頼される病院となりますようスタッフ一同、また気を引き締めてやっていきたいと思っております。

お困りのことがございましたらどうぞ御遠慮なく御相談下さい。今後とも何卒宜しく願いいたします。



当院における心筋梗塞 カテーテル治療後の転帰



科長

山路 正之

青空のまぶしい日々となりました。先生方におかれましてはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

当院では、先生方からの御紹介もあり、おかげさまで年700件前後のカテーテル治療を行っております。そのうち約45～50件が心筋梗塞症例となっています。昨年我々は、2006年～2011年に心筋梗塞にてカテーテル治療を施行された患者様の、その後の転帰につきまして、アンケート調査(追跡調査)を行いました。今回はその結果を御報告させていただきます。

心筋梗塞カテーテル治療数は年平均47例でした。東京CCUネットワークのデータでは4653例/年で、東京都の人口約1300万人と、当院がカバーする医療圏の人口約13万人の割合を考えると、都市部でも地方でも心筋梗塞患者の割合は変わらないことがわかりました。ただ、東京のデータに比べると、当院での心筋梗塞患者は高齢(平均70.2歳)でした。院内死亡率は6%で、こちら

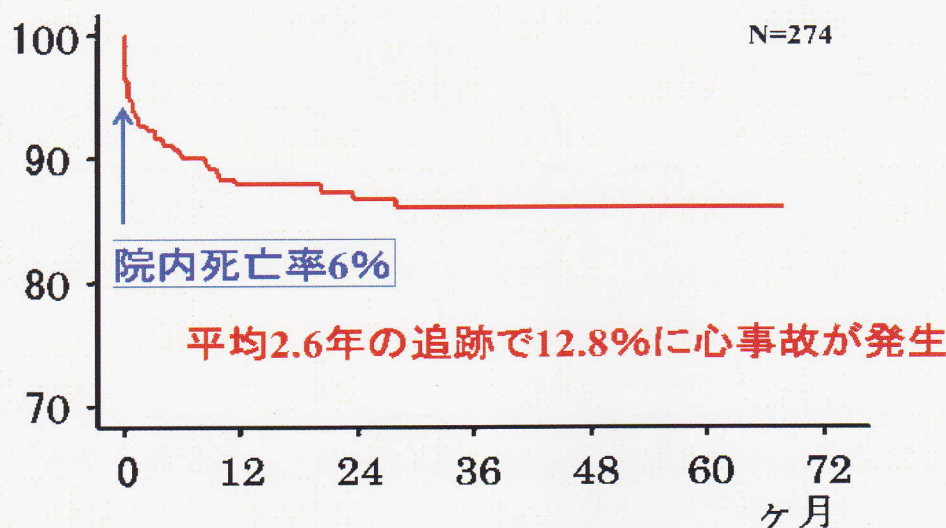
も東京のデータとほぼ同じ結果でした。平均2.6年の追跡期間中に総死亡率は11.7%、心事故(突然死を含む心臓死、心筋梗塞発症、心不全入院)の発症が12.8%でした。心事故発症の規定因子をカテーテルデータベースから検討してみると、インターベンション治療後のTIMI3 flow (造影遅延なく末梢まで造影される状態)と、退院時の左室駆出率(EF)が独立した規定因子でした。つまり、カテーテル治療で血流をしっかりと改善し、左心機能を保つことが、心事故を減らすことにつながることがわかりました。

今後、採血データや内服薬なども加味し、さらなる検討をしていく予定です。そして、このようなデータ解析結果を臨床にフィードバックし、最善の治療を行っていきたいと考えております。

今後とも何卒宜しくお願いいたします。

心筋梗塞カテーテル治療後の心事故

累積心事故回避率(%)



脳深部刺激療法(DBS)専門外来 開設のご案内

この度、当院では脳深部刺激療法(DBS)専門外来を開設することとなりました。診療されている患者様で「DBSの適応について検討頂いている」、「患者様自身もDBS治療について一度聞いてみたい」という希望がある場合など、DBS全般に関するご相談を承りたく存じます。DBS刺激条件の調整などもご相談承ります。

ご紹介よろしくお願い申し上げます。

＜脳深部刺激療法外来＞

担 当：大原 信司

日 時：各月第4金曜日(月1回) 午後1時半～3時半

※月の初日が第1土曜日の場合は、翌週の金曜日は第2金曜日という数え方になります。

※事前予約は必須ではありませんが、診療の都合上、ご予約頂ければ幸いです。

窓 口：湖東記念病院 地域連携室

TEL: 0749-45-4512

＜担当医師紹介＞

大原 信司(おおはら しんじ)

福岡山王病院 脳神経外科部長・国際医療福祉大学准教授

元ジョーンズホプキンス大学脳神経外科・アシスタントプロフェッサー

前京都きづ川病院 脳神経外科部長

日本脳神経外科学会認定 脳神経外科専門医

日本定位・機能神経外科学会認定 機能的定位脳手術技術認定医

日本臨床神経生理学会 認定医

■循環器科外来担当表

		月	火	水	木	金	土
循環器科	午前	坂口	馬淵	村上院長 (一般内科・循環器科)	前田	村上院長 (一般内科・循環器科)	非常勤
		武田	只野	山路 静田 (2週) 予約制	前中	武田	静田 (4週) 予約制
	午後	前田		坂口 静田 (2週) 予約制	前中 (※H24.1月～予定)	馬淵	
不整脈科	午前			静田 (2週) 予約制			静田 (4週) 予約制
	午後			静田 (2週) 予約制			

〈午前診〉受付 7:30～11:30 診察 9:00～12:00

H24.4.1改訂

〈午後診〉受付 13:00～15:00 診察 13:30～15:30

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ペースメーカー外来 毎月第3金曜日 午後〈予約制〉

■循環器科外来について

平素は格別のご高配を賜り、又患者様をご紹介いただき厚く御礼申し上げます。

さて、当院の循環器科外来についてご紹介させていただきます。循環器科外来につきましては村上(院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡をいただいた際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

地域医療機関との連携と患者サービスの向上に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。
ご質問等がございましたら、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。 地域連携室



■ご案内

○電車でお越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分

(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バスで25分

(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インター より15分

駐車場：150台

料 金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損等につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

心臓血管センター 湖東記念病院

地域連携室 TEL. 0749-45-4512
FAX. 0749-45-3335

ホームページアドレス
URL <http://www.subarukai.jp/>

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1
TEL. 0749-45-5000 FAX. 0749-45-5001